

■2020年国勢調査の
都道府県別人口
確定結果、15年調査との比較。
▼はマイナス

	人口 (万人)	増減数 (万人)	増減率 (%)
北海道	522.4	▼15.7	▼2.9
青森	123.7	▼7.0	▼5.4
岩手	121.0	▼6.9	▼5.4
宮城	230.1	▼3.1	▼1.4
秋田	95.9	▼6.3	▼6.2
山形	106.8	▼5.5	▼5.0
福島	183.3	▼8.0	▼4.2
茨城	286.7	▼4.9	▼1.7
栃木	193.3	▼4.1	▼2.1
群馬	193.9	▼3.4	▼1.7
埼玉	734.4	7.8	1.1
千葉	628.4	6.1	1.0
東京	1404.7	53.2	3.9
神奈川	923.7	11.1	1.2
新潟	220.1	▼10.2	▼4.5
富山	103.4	▼3.1	▼3.0
石川	113.2	▼2.1	▼1.9
福井	76.6	▼1.9	▼2.5
山梨	80.9	▼2.4	▼3.0
長野	204.8	▼5.0	▼2.4
岐阜	197.8	▼5.3	▼2.6
静岡	363.3	▼6.7	▼1.8
愛知	754.2	5.9	0.8
三重	177.0	▼4.5	▼2.5
滋賀	141.3	0.0	0.0
京都	257.8	▼3.2	▼1.2
大阪	883.7	▼0.1	0.0
兵庫	546.5	▼6.9	▼1.3
奈良	132.4	▼3.9	▼2.9
和歌山	92.2	▼4.0	▼4.3
鳥取	55.3	▼2.0	▼3.5
島根	67.1	▼2.3	▼3.3
岡山	188.8	▼3.3	▼1.7
広島	279.9	▼4.4	▼1.6
山口	134.2	▼6.2	▼4.5
徳島	71.9	▼3.6	▼4.8
香川	95.0	▼2.6	▼2.7
愛媛	133.4	▼5.0	▼3.6
高知	69.1	▼3.6	▼5.0
福岡	513.5	3.3	0.7
佐賀	81.1	▼2.1	▼2.6
長崎	131.2	▼6.4	▼4.7
熊本	173.8	▼4.7	▼2.7
大宮	112.3	▼4.2	▼3.6
宮崎	106.9	▼3.4	▼3.1
鹿児島	158.8	▼5.9	▼3.6
沖縄	146.7	3.3	2.4
全国	12614.6	▼94.8	▼0.7

総人口5年で94万人減

20年国勢調査 1億2614万6099人に

総務省は30日、2020年の国勢調査の確定結果を発表した。20年10月1日現在で、外国人を含む総人口は1億2614万6099人と、前回15年調査から94万8646人(0.7%)減り、2回連続で少なくなった。これを受け、次回以降の衆院選から定数が小選挙区で「10増10減」となることが決定し、選挙区の見直し作業が本格化する。

衆院小選挙区見直し 本格化

国内に住む日本人の人口で、5年前よりも178万は、1億2339万9千人(3千人(1.4%))減つ

た。一方で、外国人人口は5年前から83万5千人(43

・6%)増え、過去最多の274万7千人。国籍別では中国が最も多い66万7千人で、韓国・朝鮮37万5千人、ベトナム32万1千人など続く。総人口に占める15歳未満の人口は、1503万2千人(11.9%)と世界最低水準となった。65歳以上は

増え続けており、3602万7千人(28.6%)と過去最高を記録した。確定結果をもとにした衆院小選挙区の「一票の格差」は、東京22区と鳥取2区の間で最大2.096倍。2倍以上の差があったのは23選挙区にのぼった。人口比で定数を増減させ

る「アダムズ方式」によって、小選挙区数が増えるのは、東京五つ、神奈川二つ、埼玉、千葉、愛知が各一つ。減るのは、宮城、福島、新潟、滋賀、和歌山、岡山、広島、山口、愛媛、長崎が各一つとなる。

政府の「衆院議員選挙区画定審議会」(区割り審)は今後さらに議論を進め、来年6月までに首相に勧告する。政府は、勧告を受け、新たな区割りを決める法案を国会に提出。それが成立すれば、周知期間を経て新たな区割りが適用されることになる。

(坂本純也)